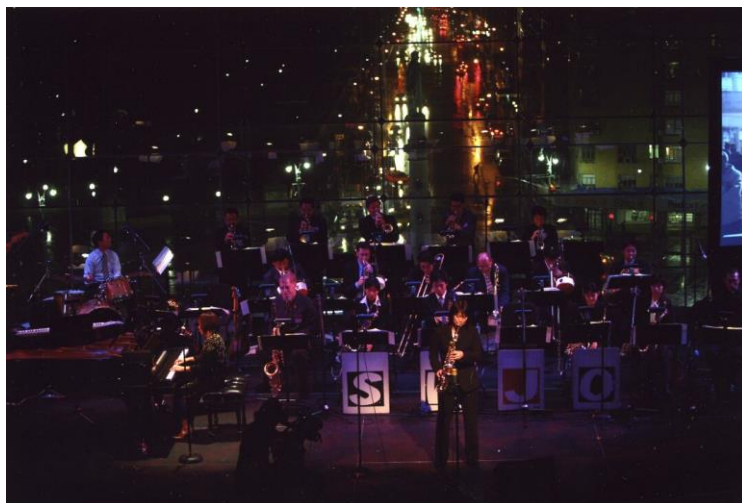


Swingin' Wonderland JAZZ Orchestra

Profile 2020



'06.1.2 NY ジャズ@リンカーンセンター公演 (写真提供:文藝春秋)

SWJO は 1991 年、香川県教育委員会文化行政課主導の下、県内ミュージシャンを中心に結成されたスウィングを追求する本格的ジャズオーケストラ。'95 年ハーレム「WELL'S」、'96 年 NY「SWEET BASIL」'01 年 NY「BLUE NOTE」アマ公演、'02 年コンボ編成でのフランス・ツアーなど海外経験を経て、国内外で非常に高い評価を得る。'96 年には『高松市文化奨励賞』を受賞。

SWJO の魅力は何と言ってもメンバーの心が一つになったダイナミックなスウィングと、知的で爽快かつユーモアある演出であり、その温かなサウンドに魅了された多くのファンより支持を受け '04 年に NPO 法人 SWJO エンタープライズを設立、組織力の強化と活動基盤の拡大を図った。

'06 年 3 度目の NY ライブツアーでは『SJF (サンポートジャズフェスティバル) in NY』公演を実施し世界的ジャズピアニスト穂吉敏子と共演。ジャズ@リンカーンセンターでのアマチュア世界初公演は海外マス・メディアから脚光を浴び、その模様は全米の TV・新聞を通じて全世界に配信された。また、この公演のハイライトが『文藝春秋』('06 年 3 月号)のグラビアで特集され、あらためて“日本を代表するジャズオーケストラ”として内外に広く認知される機会となった。

'07 年、SJF 実行委員長に穂吉とも親交の深い世界的彫刻家 流政之が就任。
'08 年、長年の活動と香川から海外への存在価値を発信した事が認められ、県内の優れた文化活動を支援する第 1 回『香川県文化芸術選奨』を受賞。

'11 年夏、SJF テーマ曲「瀬戸の夕陽 (Sunset of SETO)」を穂吉が作曲、同イメージを流がサンポート高松に巨大な石碑で表現。美しい瀬戸の夕陽を世界へ発信し、百年、千年後の孫子たちへ感動と笑顔を贈る「瀬戸の夕陽 夢プロジェクト(代表 竹崎克彦)」を実現した。

'13 年、『JATP2013GREAT JAZZ SUMMIT』において、ランディー・ブレッカー、チャールズ・マクファソンらジャズ伝説の巨人たちと共演。同年、グラミー賞 17 回受賞の『カウント・ベイシー・オーケストラ』を初めて香川に招聘、故郷のジャズ史上に残る歴史的公演を実現し、満席のお客様を前に SWJO 結成来「夢」の共演を果たした。

'15 年秋、『GOLDEN SOUND』でベイシーオーケストラ元リーダーでドラマーのデニス・マクレルと共演。デニスから SWJO への惜しみない賛辞で、会場は温かい拍手が鳴りやまなかった。

そのデニスから『SWJO 25 周年記念』として、2018 年 1 月 1 日の夜、NY を代表するジャズクラブ『NY Birdland』で満席のニュー Yorker を前に奇跡的大成功をおさめ、次回「ローマジazzフェス〜ベニス公演」という夢の機会をいただき、イタリア公演の大成功に向け現在一丸となって邁進中！